



地域と学校でつなぐ防災の輪

～砂防ダム公園までの避難路を確認しました～

9月1日の「防災の日」、本校では11月20日に予定している避難訓練の事前研修と、須田地区の「土砂災害防災計画」および「ハザードマップ」策定に向けた取組の一環として、現地調査を行いました。須田自主防災会より3名の皆様にご参加いただき、本校教職員12名とともに、学校から砂防ダム公園までの避難経路を実際に歩いて確認しました。



■ 実際に歩いて見えた「地域の危険」と「連携の強み」

実際に歩いて移動してみると、地図上の情報だけでは分からない具体的な道のりの状態や危険箇所、生徒たちが避難する際の歩行上の注意点などを、地域の皆様と直接共有することができました。また、日頃からの地域とのつながりや連携の大切さを、教職員一同あらためて実感する貴重な機会となりました。

■ 2学期からの本格的な取組へ！「詫中防災レンジャー」活動スタート

本校は、香川県内初となる国土交通省の「土砂災害防災計画策定推進地」に指定された須田地区のプロジェクトに、地域の一員として参画していきます。**災害が発生したとき、状況に応じて「どこへ・どのタイミングで避難すべきか」を自ら考える知識や判断力を培うことが、このプロジェクトの大きな目的です。**中学生は地域の「共助」を支える大切な即戦力でもあります。11月からは生徒有志による「詫中防災レンジャー」も本格的に活動を開始します。

【今後の主な取組予定】

- ・ 11月 8日(日) 勉強会： 過去の地域土砂災害を振り返り、防災計画策定の意義を共有
- ・ 11月 29日(日) 現地視察： 城場川、明神川、中尾瀬川、各種堰堤(せきてい)などの視察
- ・ 1月 17日(日) 協議： 土砂災害地区防災計画案の取りまとめ・協議

地域の安全を守る取組は、学校の中だけで完結するものではありません。ご家庭におかれましても、この機会に避難場所や連絡方法、非常用持ち出し袋の確認などについて、ぜひお子様と一緒に話し合ってみてください。今後も地域と一体となって南海トラフ地震や豪雨災害に備え、自ら考え行動できる防災教育を推進してまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

詫中生の力が、地域の命と未来を動かす！

『探究する人』となり、『挑戦する人』として地域の未来をデザインする！